

藤野台地区の移動外出・買い物実態調査結果報告

「藤野台地区課題検討会」では9月に、住民の皆様へ“外出状況の実態”アンケート調査をさせていただきました。その結果をご報告させていただきます。

この結果をふまえて、実際に困っている方の意見も聞きながら、藤野台に合った、藤野台でできる買い物支援を考えていきたいと思っています。

検討会やこの調査等に関してのご要望、または検討会への参画など、ご協力を頂けましたら幸いです。

藤野台地区課題検討会 代表 渡辺 謙

*この検討会は藤野高齢者支援センターが進めている「地域ケア会議・地域づくり部会」の移動外出課題の検討モデル地区に位置づけ、検討しております。

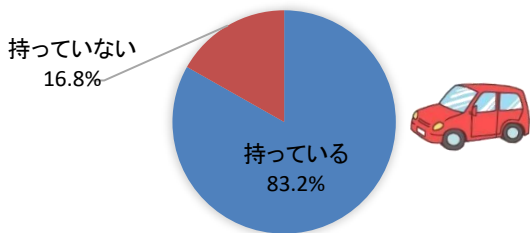
【お問合せ先】 生活支援コーディネーター 秦 まで（相模原市社会福祉協議会藤野地域事務所 ☎687-3361）

- ◆実施主体 : 藤野台地区課題検討会
- ◆実施期間 : 平成30年9月1日～9月20日
- ◆調査方法 : 藤野台団地 全世帯に配布 おおむね40歳以上の方
- ◆回収世帯 : 62世帯 / 111世帯（回収率 55.8%）
- ◆回答者 : 125人

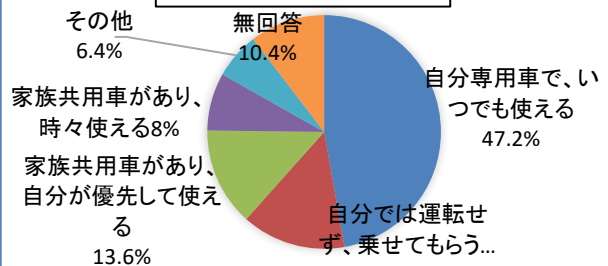
【問1】 自動車保有、移動等について



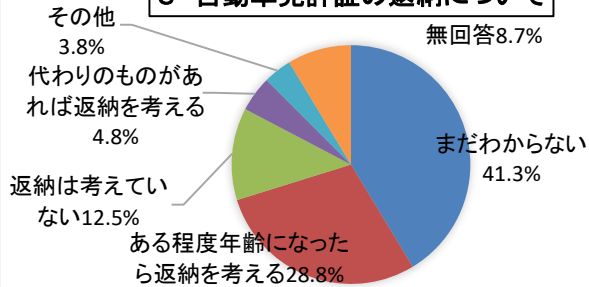
1 自動車運転免許証の保有



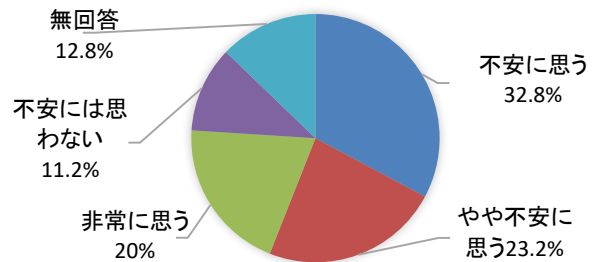
2 自動車の保有と状況



3 自動車免許証の返納について



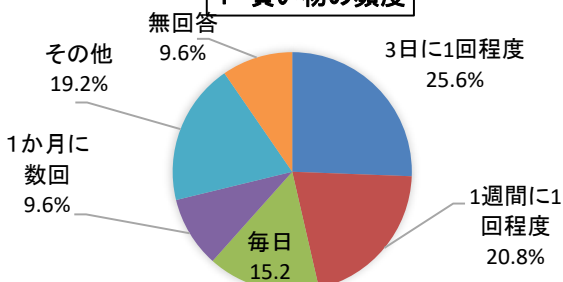
4 将来の外出への不安



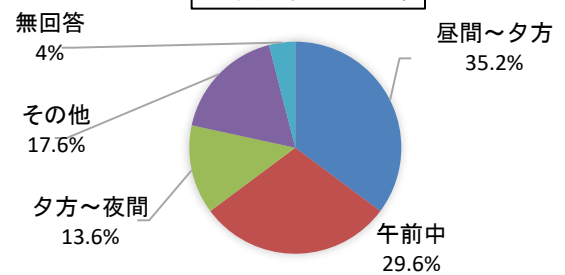
○自動車免許証の保有率は83.2%と高い割合であるが、返納に関しては「分からない」との回答率が半数近い。
○将来の移動・外出への不安については、「不安に思う」、「やや不安に思う」、「非常に思う」を合わせると76%の方が「不安に思っている」ことが分かる。

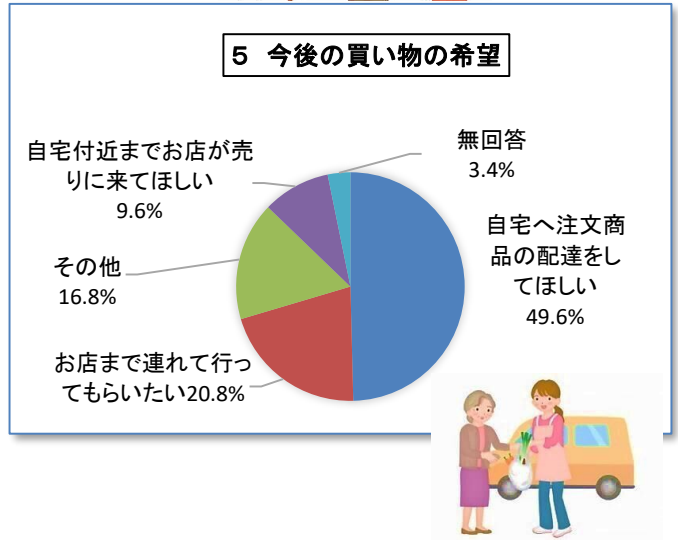
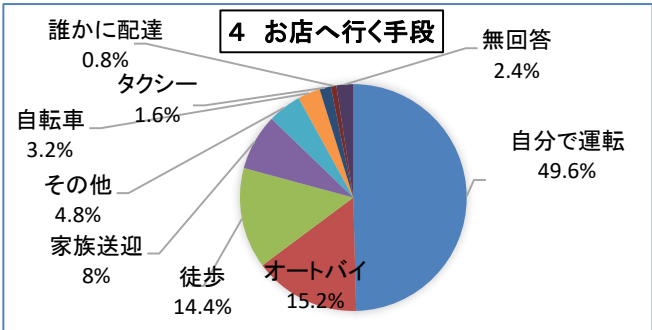
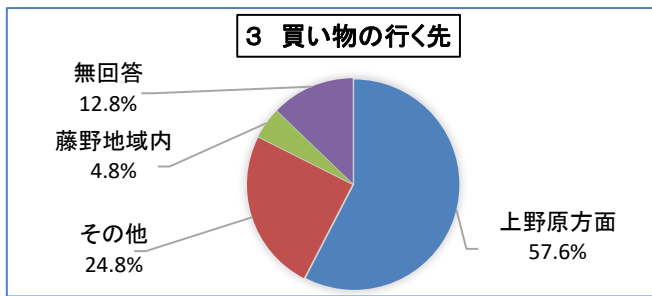
【問2】 日ごろの買い物（食料・日用品等）に関して

1 買い物の頻度



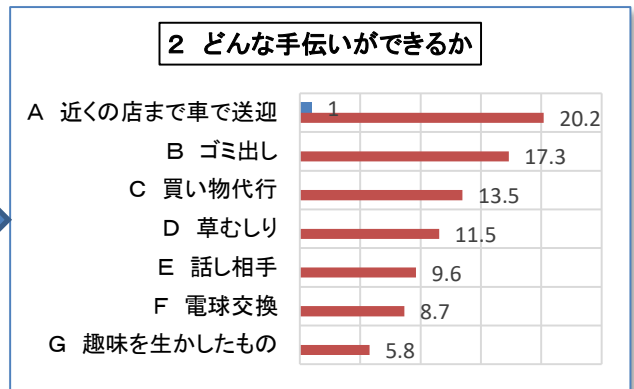
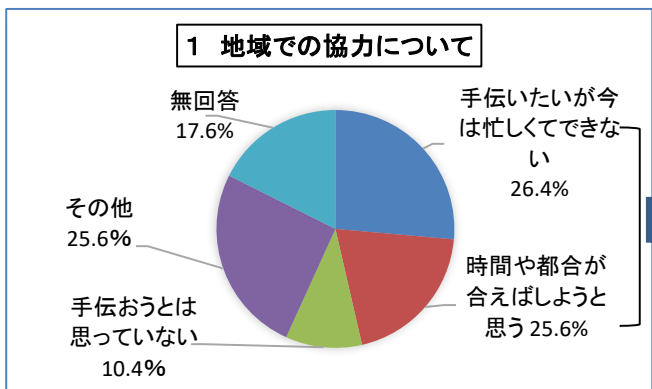
2 買い物の時間帯





- 買い物の頻度は、「3日に1回」、「1週間に1回」と回答。
- 買い物の時間帯は、「昼間から夕方」、「午前中」が多い。
- 買い物先は、「上野原方面」が6割近く回答。「その他」には八王子や橋本方面等に行くという声もある。
- 買い物支援の希望は、「自宅までの配達」が半数、「お店まで連れて行ってほしい」という希望が多かったのに対し、実際にはご近所支援としての「他人の送迎」は0%、「誰かに頼んで買って来てもらう」は0.8%で、差があり、ご近所間での頼みずらさがあることから、頼みやすい環境づくり・近所付き合いの重要性が伺える。

【問3】 地域での助け合いについて



- 地域での助け合いについては、「手伝いたいは今では忙しくてできない」と「時間や都合が合えばしようと思う」方を合わせると、46.4%の半数近くの方が「手伝いたい」という気持ちがある。
- その方達の手伝える内容では、「A近くの店まで車で送迎」「C買い物代行」など、買い物に関する支援の回答が多い。



- 現在は必要な時に高齢者の手伝いをしています。ご近所での助け合いは大事ですね。
- 現在、家族が移送サービスを利用しています。
- 将来、買い物手段について勉強会など、備えをする機会も必要と思う。
- 一人世帯の孤独(死)の安心安全の対応として、地域の見守り合うシステム展開をすることも必要
- 病院までの車をお願いしたい
- 自動車に乗せて買い物に行く場合、事故などの保障等が心配
- 地域の助け合いについては、夫婦で体調が悪く、手伝えることが難しいと思います。
- タクシー券が利用(配布)できたらありがたい。

★藤野台 地域の助け合い協力の申し出者
13名(男性10人、女性3人)



貴重なご意見を、
ありがとうございました!

課題検討会のご支援・ご協力について

1. 課題検討会の発足の経緯

藤野台では、移動への課題が非常に大きいことから、藤野台自治会におきまして、平成30年3月に相模原市の「乗合タクシー」に関する住民アンケートを実施しました。

4月には相模原市の交通政策課を招いて「乗合タクシー」についての説明会が開かれました。その結果、藤野台のほとんどの方の生活圏が上野原であり「乗合タクシー」の運行は「藤野駅」よりも「上野原駅」への要望がほとんどだと分かりました。しかし「乗合タクシー」を進める上で、県をまたぐため相模原市は上野原市と協議し了承を得て行かねばならず、住民の協議会が発足し検討が始まり、その後サービスが導入されるまで数年かかるとのことでめどが立たない状況とのことでした。

その状況から住民からは「地域でできることを考えていくことが急務ではないか」との声があがり、平成30年6月6日に「課題検討会」を発足いたしました。

2. 此処までの活動状況

年 月	活 動 状 況
平成30年	・第1回課題検討会を実施しました（顔合わせ）
6月	・下記メンバー6名にて「課題検討会」を発足しました メンバー：渡辺・新島・橋本 角田・後藤・水越
7月	・第2回課題検討会を実施しました
8月	・第3回課題検討会を実施しました
9月	・第4回課題検討会を実施しました ・移動に関するアンケートを実施しました ・佐野川の移動手段「いくべえカー」について勉強会を実施しました
10月	・第5回課題検討会を実施しました
11月	・第6回課題検討会を実施しました ・くりのみ学園を訪問し、車の提供についてお願いと状況確認を行いました
12月	・第7回課題検討会を実施しました ・移動に関するアンケートの結果を回覧で報告を致しました
平成31年	・第8回課題検討会を実施しました
2月	・講師をお招きして「私たちができる移動外出支援を考えよう」をテーマに平日のお昼時にも関わらず、41名の参加を頂き勉強会を実施しました
3月	・第9回課題検討会を実施しました ・くりのみ学園の「しいたけ祭り」の催しに参加しました ・14名の参加を頂き、いちやまマートに「買い物ツアー」の試運行を実施しました

今後も、この活動を継続して行く必要が有ります。それには、藤野台自治会員皆様、一人・一人のご支援とご協力が不可欠です。「私たちに何ができるか？」皆さんと一緒に考え・協力して取り組みたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

「ももちゃんサロン」の活動報告（令和4年度）

1. はじめに

新型コロナウイルスが日本で初めて確認されてから3年が過ぎました。未だ新型コロナウイルスの感染は終息せず第8波を迎えています。新規感染者は減少傾向にありますが、日本全国で新規感染者が0の都道府県は有りません。また毎日100人以上の方が亡くなっています。毎日ですよ！

このような状況下で政府は、新型コロナウイルスを2類から、季節性インフルエンザと同じ5類に変更し、またマスクの着用を個人の判断に委ねようとしています。変更する根拠も何も示さず、こんなことで良いのだろうかと大変疑問に思います。しかし「ももちゃんサロン」は今までどおりの基本的な感染対策「マスクの着用・検温・手指の消毒・3密の回避・こまめな換気」等、感染対策を実施し、活動を続けてまいりますので、どしどしご利用頂きたいと思えます。

2. 「ももちゃんサロン」利用状況

令和4年3月～令和5年2月までに買い物に参加された方は延べ124名、お茶会のみに参加された方は延べ34名でした。

	第二火曜日		第四火曜日		計		
	買い物	お茶会のみ	買い物	お茶会のみ	買い物	お茶会のみ	合計
令和4年3月							
4月	6		6		12		12
5月	8		7		15		15
6月	7		6		13		13
7月	5		5		10		10
8月	5		5		10		10
9月	6		5		11		11
10月	5	3	4	3	9	6	15
11月	5	4	5	4	10	8	18
12月	4	5	4	4	8	9	17
令和5年1月	7	3	6	2	13	5	18
2月	7	3	6	3	13	6	19
計	65	18	59	16	124	34	158

3. 外出ボランティア担い手講座を受講して

令和4年8月27日（土）に「ももちゃんサロン」のスタッフ3名（1B新島さん・3B渡辺さん・6B橋本さん）で津久井保健センターにて、午前9時～午後5時30分迄の予定で、外出支援ボランティア担い手養成講座を受講しました。講座を受け、車いすの操作・介護車のリフターの操作・介護車の運転等を行い、介護車の運転では車いすで乗車している利用者さんの気持ちになって車を運転する等の運転の心構えを教わりました。今後の「ももちゃんサロン」の活動に生かしていきたいと思えます。

【福祉有償運送運転者講習（セダン等運転講習）の修了証を受けました】

4. 相模原市からの移動支援について

令和5年1月6日（金）藤野総合事務所にて、相模原市から、藤野台の「ももちゃんサロン」と佐野川地区で移動支援の活動をしている「さっそくいこう会」の団体に、新たな移動支援についての説明会が有りました。詳細は不明ですが、今後の相模原市議会に方向性や予算を提出するそうです。お話を聞いた内容では、今までは、あれはだめ、これはだめとうとう制約が有り使えない支援策でしたが、今後の支援策は意外と自由度を持った内容に感じました。今後、この支援策が具体化し「ももちゃんサロン」の活動に生かせればと思いますのでご期待ください。

5. 訃報

令和4年9月5日に1B新島幹雄さんが突然亡くなくなられました。新島さんは藤野台の移動支援についての「藤野台課題検討会」を立ち上げた発起人であり、又、その後立ち上げた「ももちゃんサロン」のスタッフとしてリーダー的存在でした。亡くなる一週間前には前項“3”でも記載しましたが、外出支援ボランティア担い手講座では正直うるさい位元気でした。まさしく「晴天の霹靂」で「エエー、エエー」の言葉しか出ませんでした。聞いた話によりますと、新島さん個人で藤野台に居住している方のちょっとした困りごと等の相談を受けたり、病院への送迎をしていたそうです。又、藤野台自治会の会長や藤野地区自治会連合会の副会長等を務め、ご尽力頂いていました。新島さんが亡くなり「ももちゃんサロン」の活動では大きな戦力を失い大変残念ですが、残りのスタッフで頑張って活動を続けてまいります。

ここに、今までの活動に心より感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。ありがとうございました。